

編集後記

2012 年を迎えたが、各地で大雪に見舞われ、寒い冬が続いている。「温暖化が進んでいる」と言われているが、一方では「氷河期に向かっていく」との意見も耳にする。どちらが本当なのだろう？ 統計の取り方や地域によって専門家の意見が異なっているらしい。

さて、本号では膵画像診断として US, CT, PET/CT, MRI, EUS, ERCP, 膵管鏡の最新動向について解説頂いた。確かに機器の進歩は目覚ましく、これらを用いれば小膵癌の発見も難しくないと思える。ただし、これら全ての検査を行うことは医療経済的には難しく、患者の負担もある。また、どの検査を優先し、どの所見が得られた場合に次に何の検査を行うか、が問題となる。今までは検診を含め、最初に行われる検査法として US が位置してきたが、現在までの成績では膵癌の早期発見に十分寄与しているとは言い難い。他の検査法によるスクリーニング法の構築が必要である。

CAPS Summit に参加して驚いたことがいくつかあった。まず、画像診断法として本邦では CT を重視している専門が多いのに対し欧米では CT より MRCP を重視している、US は話題にすら上らず、ERCP は診断目的には行われていない、などである。確かに、MRCP は造影剤を使用せず、DWI を加えることで膵癌発見に寄与する可能性がある。撮像時間の短縮と機器の cost down が進めば検診の場にも利用する価値はありそうである。一方、詳細な画像診断を得意としない欧米の医師から膵癌のスクリーニングに EUS を推薦してきたことに最も驚いた。ただ、心配なのは、彼らの言う EUS とは常に FNA を意識するものであり、わずかな異常所見をみつけてどんどん穿刺するという手法が取られそうである。FNA は素晴らしい手技であるが、「癌陰性」とした場合の対処が難しいことを忘れてはならない。そして、必ず播種の問題が出てくる。やはり、地域によって専門家の考え方に違いがあるということを改めて実感した。

(真口宏介)

編集顧問

編集幹事

編集委員

有山 襄	竹原 靖明	望月 福治
二村 雄次		
角谷 眞澄	神澤 輝実	工藤 正俊
國土 典宏	棚野 正人	真口 宏介
山雄 健次		
朝倉 徹	跡見 裕	猪狩 功遺
石川 洋子	市川 智章	伊東 克能
乾 和郎	今井 裕	植木 敏晴
太田 哲生	岡崎 和一	梶原 建熙
兼松 雅之	川崎 誠治	蒲田 敏文
鬼島 宏	木下 壽文	木村 理
熊田 卓	小井戸一光	坂元 亨宇
佐々木 洋	下瀬川 徹	須山 正文
高安 賢一	高山 忠利	竹内 和男
武田 和憲	田中 雅夫	土井隆一郎
長川 達哉	信川 文誠	長谷部 修
廣橋 伸治	本田 浩	眞栄城兼清
前谷 容	松井 修	村上 卓道
森 宣	森安 史典	柳澤 昭夫
山下 康行	山野 三紀	竜 崇正
渡辺 五朗		(五十音順)

掲載広告索引

(五十音順)

エーザイ(株)	表 2
オリンパスメディカルシステムズ(株)	96
第一三共(株)	表 4
大日本住友製薬(株)	95
東芝メディカルシステムズ(株)	表 3
ボストン・サイエンティフィックジャパン(株)	100

肝胆膵画像(第 14 巻第 2 号)

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

☎ 本誌編集室直通 (03)3817-5714 (担当)藤田・能藤

FAX (03)3815-7802・3815-7982

E-mail: gazo@igaku-shoin.co.jp

http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/kantansui/

2012 年 3 月 15 日発行(隔月 15 日発行)

定価 4,095 円(本体 3,900 円+税 5%)

2012 年年間購読料(送料弊社負担, 税込み, 増刊号を含む 7 冊)

冊子版 27,630 円

電子版/個人 27,630 円 電子版/共有 31,800 円

冊子+電子版/個人 30,630 円 冊子+電子版/共有 34,800 円

☎ 販売部直通 (03)3817-5659

振替口座 00170-9-96693

印刷所 (株)アイワード ☎(011)241-9341(代)

広告取扱 (株)文京メディカル ☎(03)3817-8036(代)

- Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo. ©2012, Printed in Japan.
- 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有いたします。
- 本誌を無断で複製する行為(複写, スキャン, デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学, 病院, 診療所, 企業などにおいて, 業務上使用する目的(診療, 研究活動を含む)で上記の行為を行うことは, その使用範囲が内部的であっても, 私的使用には該当せず, 違法です。また私的使用に該当する場合であっても, 代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。
- **JCOPY** <(株)出版者著作権管理機構 委託出版物>
- 本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は, そのつど事前に, (株)出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。
- 医学書院ホームページ(インターネット)は <http://www.igaku-shoin.co.jp> です。